

Gibson G FORCEオーナーズマニュアル 2.32  
Gibson Brands  
改訂版 1.03



## 目次

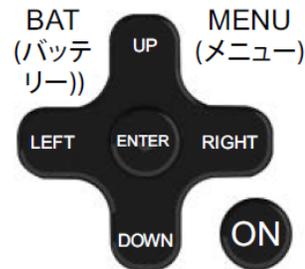
- 03 Gibson G FORCE™の基本機能：はじめにお読みください
  - 04 メインチューニング・プリセットバンク：デフォルトの設定
  - 05 ダウンチューニング・プリセットバンク：デフォルトの設定
  - 06 Gibson G FORCE™搭載ギター：弦の交換
  - 09 Gibson G FORCE：バッテリーの交換
  - 09 概要：拡張機能の選択、決定、編集方法
- 
- 11 チューニング機能（白カテゴリー）
    - 11 E スtringアップ／ダウン
    - 11 A カスタムチューニング
    - 11 A 「ピッチアシスト」モードでのカスタムチューニング
    - 12 D リファレンス チューニング
    - 12 G ファームウェアバージョン
    - 13 B バッテリー残量
    - 13 e グローバルチューニングの一時的なオフセット
- 
- 14 リセット機能（赤カテゴリー）
    - 14 マスターシステムリセット（赤カテゴリー）
- 
- 15 ハードウェア拡張機能（シアンカテゴリー）
    - 15 E カリブレーションモード
    - 15 A チューニング精度
    - 16 D マシン・ヘッドディレイ
    - 16 G マシン・ヘッドスピード
    - 16 B 干渉フィルター
- 
- 17 ソフトウェア拡張機能（黄色カテゴリー）
    - 17 E ゲイン
    - 17 A ギターのタイプ
    - 17 D ピッチウィンドウ
    - 18 G ダウンチューニングやユーザーチューニングプリセット用バンクの追加
    - 18 B チューニング・オフセットモード（一時設定、確定設定）
- 
- 19 弦1本ごとのピッチオフセット（マゼンタカテゴリー）
- 
- 20 バンクをカスタムチューニング用にブロック／ブロック解除（青カテゴリー）
- 
- 21 カポモード
  - 22 チューニングの合成
  - 23 添付資料1：String・BAT・MENUのLEDインジケータ色の意味
  - 24 添付資料2：オルタネートチューニングにおける弦ピッチの最小値／最大値
  - 25 添付資料3：ピッチを下げたカスタムチューニングを手早く行う
  - 26 添付資料4：ピッチを上げたカスタムチューニングを手早く行う

- 27 添付資料5：Gibson G FORCE™バッテリーの充電
- 28 添付資料6：Gibson G FORCE™取扱規約：安全にお使いいただくために

# Gibson G FORCE™基本機能：はじめにお読みください

## A) マルチ スtring チューニング

1. ONボタンを押します。6弦を一度に鳴らします。G FORCEが、現在選択されているチューニング設定に合わせてチューニングします。
2. 全てのLEDが緑に変わるとチューニング完了です。Gibson G FORCEは自動的に電源オフになります。（赤のLEDが残っている場合はミュートして、全てのLEDが緑になるまで、該当する弦を1本ずつ鳴らしてチューニングします。）

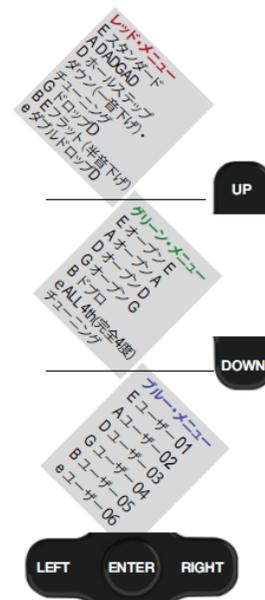


## B) チューニングの精度を上げる（さらに時間をかけて1本ずつチューニングすることで、より精度の高いチューニングが行えます）

1. EのLEDが赤に点灯するまでONボタンを長押しします。
2. 赤のLEDが点灯した弦を鳴らします。LEDが緑に変わるまで弦を鳴らしてチューニングします。チューニングが合えば、Gibson G FORCEは自動的に次の弦のチューニングへと移行します。
3. 全てのLEDが緑になれば、選択した設定に合わせたチューニングの完了です。Gibson G FORCEがオフになります。

## C) 重要個所、チューニングの変更機能

1. ONボタンを2回押します。
2. UP/DOWNボタンでチューニング プリセット バンクを選択します（赤、緑、青）。
3. LEFT/RIGHTボタンで希望のチューニングを選択します。
4. Enterボタンを押して、全てのLEDが赤に点灯したら、1度弦を鳴らします（Enterを押した時点でチューナーが起動します）。
5. 全てのLEDが緑に変わるとチューニング完了です。Gibson G FORCEがオフになります。
6. これでこのチューニングがデフォルト（起動時のチューニング）となります。今後は手順AまたはBで、このチューニングに合わせてられます。



## D) スタンダード・チューニングに戻す

1. ONボタンを2回押します。
2. UP/DOWNボタンで赤のチューニングバンクを選択し、次にLEFT/RIGHTボタンでEのLEDを赤に点灯させます。Enterを押し、弦を一度鳴らします。これで、スタンダード・チューニングがデフォルトに設定されました（現在の設定）。

## E) ONボタンを長押ししてGibson G FORCEをオフにする

## 注意事項

- 弦巻上げツールは使用しないでください。Gibson G FORCE搭載のString UP/DOWN機能をご利用ください。
- Gibson G FORCEが動作している状態で、手動のチューニングを行わないでください。
- Gibson G FORCEを安全にお使いいただくため、添付資料5と6をよくお読みください。
- **弦ゲージや弦タイプを変更した場合は、カリブレーションを行ってください（15ページ）。**
- **BAT**のLEDインジケータを定期的に確認しましょう。**緑**=バッテリーは完全に充電されています。**黄色**=バッテリー残量はわずかです。**赤**=充電が必要です。
- 初めてGibson G FORCEをお使いになる前に、バッテリーを充電してください。
- 多彩なオプション機能を活用していただくため、マニュアルに記載の拡張機能についてもお読みください。
- Gibson G FORCEについての新着情報は[www.gibson.com/gforce](http://www.gibson.com/gforce)をご覧ください。

## メインチューニングプリセットバンク：デフォルトの設定

赤：メイン チューニング プリセット バンク							
	弦	E	A	D	G	B	E
LED							
E	スタンダード	E	A	D	G	B	E
A	DADGAD	D	A	D	G	A	D
D	ホールステップダ	D	G	C	F	A	D
G	ドロップD	D	A	D	G	B	E
B	Eフラット (半	E <sup>b</sup>	A <sup>b</sup>	D <sup>b</sup>	G <sup>b</sup>	B <sup>b</sup>	E <sup>b</sup>
E	ダブルドロップD	D	A	D	G	B	D
緑：メイン チューニング プリセット バンク							
	弦	E	A	D	G	B	E
LED							
E	オープンE	E	B	E	G <sup>#</sup>	B	E
A	オープンA	E	A	E	A	C <sup>#</sup>	E
D	オープンD	D	A	D	F <sup>#</sup>	A	D
G	オープンG	D	G	D	G	B	D
B	ドブロ	G	B	D	G	B	D
E	4度チューニング	E	A	D	G	C	F
青：ユーザー チューニング プリセット バンク							
	弦	E	A	D	G	B	E
LED							
E							
A							
D							
G							
B							
E							

青のユーザー チューニング プリセット バンクはデフォルトでスタンダード・チューニング (E, A, D, G, B, e) となっています。お好みのカスタムチューニング名とスケールの記録に上の表をご使用ください。

## ダウン チューニング プリセット バンク : デフォルトの 設定

白 (ダウン チューニング プリセット バンク)							
弦	E	A	D	G	B	E	
LED							
E	Cチューニング	C	F	A#	D#	G	C
A	ダウンC	C	G	D	G	A	D
D	Cシャープ	C#	F#	B	E	G#	C#
G	Bチューニング	B	E	A	D	F#	B
B	ドロップC	C	G	C	F	A	D
E	ドロップB	B	F#	B	E	G#	C#
黄色 (ダウン チューニング プリセット バンク)							
弦	E	A	D	G	B	E	
LED							
E	オープンC	C	G	C	G	C	E
A	オープンC6	C	A	C	G	C	E
D	オープンB	B	F#	B	F#	B	D#
G	ダブルドロップC	C#	G#	C#	F#	A#	C#
B	ダブルドロップC	C	G	C	F	A	C
E	ダブルドロップB	B	F#	B	E	G#	B
マゼンタユーザー チューニング プリセット バンク							
弦	E	A	D	G	B	E	
LED							
E							
A							
D							
G							
B							
E							

マゼンタユーザー チューニング プリセット バンクは、デフォルトでCチューニング (C, F, A#, D#, G, C) となっています。お好みのカスタムチューニング名とスケールの記録に上の表をご使用ください。



## Gibson G FORCE™搭載ギターの弦交換

Gibson G FORCEが正しく作動するよう、弦の交換は次の手順に従って行ってください。ネックのテンションを一定に保つために、1本ずつ交換することをお勧めします。

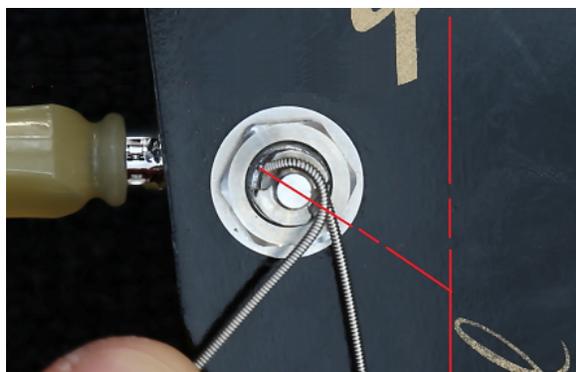
### 低音側弦の交換

1. 本体のロッキングナットを緩めて外します。
2. ヘッドストックを上に見て、低音弦が左側にくる状態で、ストリングシャフトのフランジの右側のスロットが時計の4:00と5:00の間、左側のスロットが10:00と11:00の間にくるようにします。



低音E弦のポスト。ギター本体は写真の下方です。

3. 弦をブリッジから通し、ヘッドの方へ出します。緩まないように引張りながら、弦を本体の外側に向けてストリングシャフトのフランジの下の部分に引っかけます。チューニングペグ側の方のフランジから弦を手前に引き上げます。



弦の張り方のテクニック。ストリングシャフト・スロット（弦をスレッド側へ折り返すためのくぼみ）を、ギターの中心線に対して約45度にします。ギター本体は写真の下方です。

4. 弦をストリングシャフトのフランジの上の部分で時計回りに1周巻きつけます。



弦をロックナットを締めるのと同じ方向（時計回り）に巻きつけます。

5. ロックナットを取りつけ、指でしっかり締めます。その後、コインを使ってさらに45度ほど回転させます。締めすぎに注意しましょう。
6. スtring・アップモードを用いてチューニングを行います（11ページ参照）。

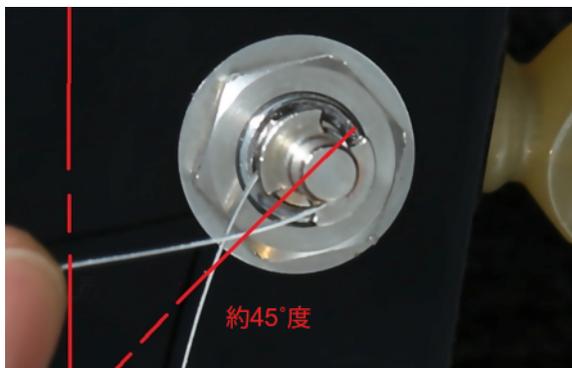
## 高音側弦の交換

1. 本体のロックナットを緩めて外します。
2. ヘッドストックを上に向け、高音弦が右側にくる状態で、フランジの右側のスロットが時計の1:00と2:00の間、左側のスロットが7:00と8:00の間にくるようにします。



赤線が45度ラインです。

3. 弦をブリッジから通し、ヘッドの方へ出します。緩まないように引張りながら、弦を本体の外側に向けてストリングシャフトのフランジの下部分に引っかけます。
4. 弦をフランジのスロットから上に引き出し、ポストのフランジの上部分に時計回りに巻きつけます。



ストリングシャフト・スロット（弦をスレッド側へ折り返すためのくぼみ）を、ギターの中心線に対し約45度にします。

5. 弦をポストの先端部分に巻きつける時は、ポストに直接ではなく、フランジ上部に巻きつけるようにします。Bおよび高音e弦の場合は2周巻きつけてください。



弦をロックングナットを締めるのと同じ方向（時計回り）に巻きつけます。Bおよび高音e弦を交換する場合は、2周巻きつけてからキャップを締めます。

6. 弦をフランジの上部に巻きつけ、片手で弦を引っ張りながらもう一方の手でキャップを取りつけます。
7. キャップを取りつけ、指でしっかり締めます。その後、コインを使ってさらに8分の1回転させます。締めすぎに注意しましょう。
8. ストリング・アップモードを用いてチューニングを行います（11ページ参照）。

## Gibson G FORCEバッテリー交換

バッテリーはフル充電の状態でおよそ100回のチューニングが可能です。微調整が多い場合は、さらに長持ちします。バッテリーの取扱い、充電方法については、添付資料5（27ページ）をご覧ください。

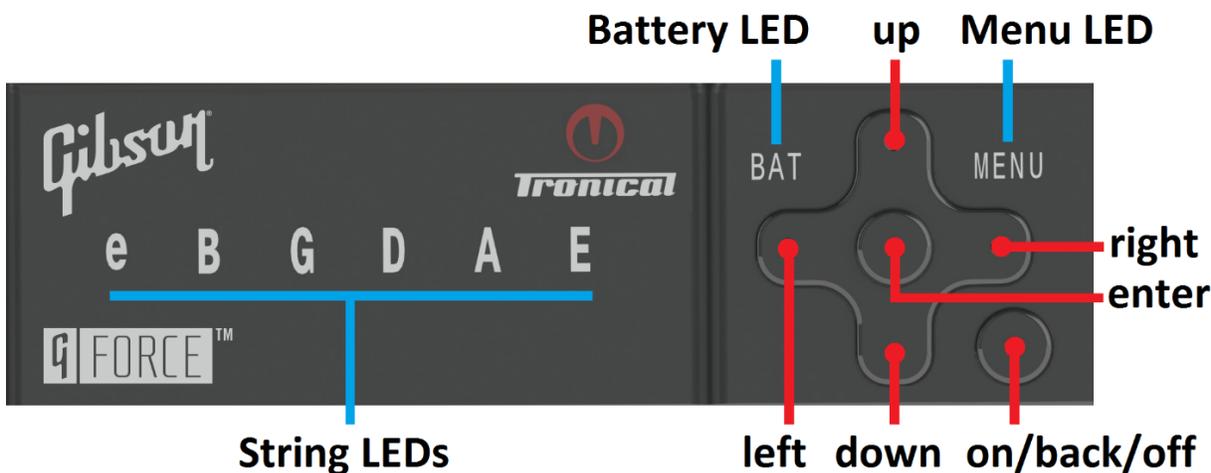
**バッテリーの取り外し方：**バッテリーはヘッドストックの裏側、Gibson G FORCEコントローラ部分にあります。コントローラ上部（第3弦と4弦のヘッドの間）の四角い部分を押し込みます。バッテリーが少し浮き上がります。バッテリー上部に外向きの溝があることを確認し、溝の方向にそってバッテリーを引き出します。

**バッテリーの取り付け方：**バッテリーをコンパートメントに無理やり押し込まないでください。取りつけの際にバッテリーがスムーズに入らない場合、正しく挿入されていません。

金属接触部がバッテリーの側面上部（ヘッドストックから外向き）になり、ピンを下向きに開口部に挿入します。バッテリーの上部から、カチッという音が鳴るまでゆっくり下方に押し込みます。バッテリーの上部とコントローラの上部分が同じ高さであれば、正しく装着できています。

## 概要：拡張機能の選択、決定、編集方法

Gibson G FORCE™は使いやすく設計されています。ボタンを数回押すだけで、スタンダードやオルタネート・チューニングなど、よく使う機能に簡単にアクセスできます。String LED（最低音第6弦の「E」から最高音第1弦の「e」まで）は、システムのステータスも示します。



Gibson G FORCEのプリセットには、スタンダード・チューニング、オルタネート・チューニング、カスタムチューニングがあります。それぞれのプリセットにチューニング設定が保存されています。出荷時のデフォルトチューニングのほか、自分の好みのチューニングを設定、保存できます。

クイックスタートガイドでも簡単に操作でき、楽器を常にチューニングされた状態に保つことができます。

Gibson G FORCEは、ゲーム感覚でレベルアップすることもできます。より高レベルなチューニングのオプションが利用可能です。これらのオプションで、チューニングの幅がさらに広がります。拡張機能の選択や変更方法の概要は次の通りです。

**カテゴリー**：Gibson G FORCEにはメインカテゴリーが6つあります。

- ONボタンを3回続けて押します（およそ1秒に1回のペース）。次にLEFT/RIGHTボタンでカテゴリーを選択し、Enterボタンを押します。
- カテゴリーはLEDの色で識別します。例：黄色カテゴリーは主にソフトウェアの拡張機能です。マゼンタカテゴリーは弦のピッチオフセットを操作します。
- カテゴリー選択時には、MENUのLEDインジケータが、選択中のカテゴリーの色で点滅します。

**機能**：各カテゴリーからさまざまな機能を実行できます。

- カテゴリーを選択したら、/RIGHTボタンで機能を選択し、Enterボタンで確定します。
- MENUインジケータが点滅から点灯に変わると、UP/DOWN・LEFT/RIGHTボタンで機能に変更を加えることが可能です。終了したら、Enterボタンで確定します。

ON/BACK/Offボタン編集中は、ONボタンが「BACK」ボタンの役割をします。Gibson G FORCEをオフにする場合もONボタンを使います。

- Gibson G FORCEが機能選択時にONボタン（BACKボタン）を押すと、カテゴリー選択状態まで戻ります。
- BACKボタンをもう一度押すと、Gibson G FORCEのチューニング選択モードに切り替わります。
- ONボタン（Offボタン）を長押しすると、Gibson G FORCEがオフになります。（オフにならない場合は、もう一度長押ししてください。）

機能選択時にEnterボタンで確定すると、Gibson G FORCEは機能選択状態に切り替わり、そのまま次の機能の選択が可能です。全ての作業が終了したら、ON（Off）ボタンを長押ししてGibson G FORCEをオフにしてください。

備考：Gibson G FORCEをご使用になる前に、添付資料5（27ページ）と添付資料6（28ページ）に記載されているGibson G FORCEの取扱規約および安全にお使いいただくための情報をお読みください。

## 拡張機能

### チューニング機能（白カテゴリー）

#### E スtringアップ／ダウン

##### 弦を素早く巻上げ、巻き戻す

1. Gibson G FORCEがオフの状態の時に**ON**ボタンを3回押します。次に**Enter**ボタンを2回押します。
2. 調節する弦のLEDが**赤**に点滅します。調節する弦を選択する場合は**LEFT**/**RIGHT**ボタンを押します。
3. 巻き戻す場合は**DOWN**ボタンを、巻上げる場合は**UP**ボタンを長押しします。

**備考：**弦のアップ／ダウン操作時はシングル・Stringチューニングモードがアクティブになります（弦を1本ずつチューニング）。弦のピッチがほぼ正しい高さまできたら、**UP**ボタンの長押しをやめ、弦を弾いて音を出します。前回のチューニング完了時のピッチに近くなるとStringLEDが**黄色**に点滅します。その後Gibson G FORCEが自動チューニングに切り替わり、弦のチューニングが完了すると次の弦のチューニングを開始します。（チューニングが完了しない場合は、もう一度弦を弾いてください。）

#### A カスタムチューニング

お好みのチューニングを設定し、ユーザーチューニングとして**青**プリセットバンクに保存できます。カスタムチューニングの各オプション詳細については、添付資料3および添付資料4をご覧ください。

1. Gibson G FORCEがオフの状態、ギターをお好みのチューニングにします。
2. **ON**ボタンを3回押します。次に**Enter**ボタンを押します。
3. **LEFT**ボタンを1回押して、**白**く**A**StringLEDが点灯していることを確認し、**Enter**ボタンを押します。
4. LEDが**赤**く点滅したら、該当する弦を弾きます。（ヒント：LEDが**緑**になってから弦をミュートすると、記録操作を素早くすすめられます。）
5. StringLEDが**青**に点滅したら、**LEFT**/**RIGHT**ボタンで**青**プリセットのいずれかを選択します。**Enter**ボタンを押して、完了したチューニングをプリセットバンクに保存します。

## A 「ピッチアシスト」モードでのカスタムチューニング

カスタムチューニングをピッチ修正してユーザーチューニングプリセットとし、**青**チューニングプリセットバンクに保存

カスタムチューニングを保存する前にピッチアシストをオンにすれば、各音の正確なピッチから40セント以内のブレを自動修正して保存できます。

1. Gibson G FORCEがオフの状態、ギターをお好みのチューニングにします。
2. **ON**ボタンを3回押します。次に**Enter**ボタンを押します。
3. **LEFT**ボタンを1回押して、**白**の**A**ストリングLEDが点灯していることを確認し、**Enter**ボタンを3秒以上長押しすると、ピッチアシスト機能がオンになります。
4. LEDが**赤**く点滅したら、該当する弦を弾きます。（ヒント：LEDが**緑**になってから弦をミュートすると、記録操作を素早くすすめられます。）
5. ストリングLEDが**青**に点滅したら、**LEFT**/**RIGHT**ボタンで**青**プリセットのいずれかを選択します。**Enter**ボタンを押して、ピッチ微調整が完了したチューニングを選択中のプリセットバンクに保存します。

## D リファレンス・チューニング

任意のピッチに合わせてギターをチューニング

**例：**ピアノは楽器そのものとしてはチューニングされていてもピッチが微妙にフラットです。ギターのどれか1本の弦をピアノのピッチに合わせ、そのピッチを基準としてギターをチューニングすることで、ピアノのピッチに合わせるすることができます。

**備考：**いったん別のチューニングをロードすると、リファレンス・チューニングは解除されます。リファレンス・チューニングの設定を保存するには、上記**A カスタムチューニング**の手順に従ってユーザープリセットとして保存してください。その際、ピッチアシスト機能は使わないでください。

1. Gibson G FORCEがオフの状態、いずれか1本の弦を基準となるピッチにチューニングします。
2. **ON**ボタンを3回押します。次に**Enter**ボタンを押します。
3. **LEFT**ボタンを2回押し、**白**の**D**ストリングLEDが点灯していることを確認し、次に**Enter**ボタンを押します。
4. **E**ストリングLEDが**赤**に点滅します。**LEFT**/**RIGHT**ボタンでリファレンス・チューニング用にチューニングした弦を選択します。
5. 弦を弾きます。弾いた弦のLEDが**緑**になり、その他のストリングLEDが**赤**の状態になったら、全ての弦を鳴らします。

6. リファレンス・チューニングが完了すると、LEDが全て消灯します。

## G ファームウェアバージョン

### Gibson G FORCEのファームウェアバージョンを表示

1. Gibson G FORCEがオフの状態からONボタンを3回押します。次にEnterボタンを押します。
2. LEFTボタンを3回押し、**白**の**G**ストリングLEDが点灯していることを確認します。次にEnterボタンを押します。
3. LEDの色が変わって点灯と消灯を3回繰り返します。**緑**はバージョンの最初の数字、**青**は2桁目、**赤**は3桁目の数字を意味し、それぞれ点灯したLEDの数で表します。LEDが全部**白**の場合はゼロを意味します。**例：緑2個＋青3個＋赤1個 = バージョン2.3.1**
4. 点滅が早く見逃してしまった場合は、もう一度Enterボタンを押してください。

## B バッテリー残量

### バッテリーの残量をチェックする

1. Gibson G FORCEがオフの状態から**ON**ボタンを3回押します。次に**Enter**ボタンを押します。
2. **LEFT**ボタンを4回押し、**白のB**ストリングLEDが点灯していることを確認します・次に**Enter**ボタンを押します。点灯したLEDの数が多いほど、バッテリーの残量が多いことを示します。**赤**のLED1つまたは2つのみが点灯した場合は、バッテリーを充電してください。
3. LED表示を見逃してしまった場合は、もう一度**Enter**ボタンを押してください。

## e グローバルチューニングの一時的なオフセット

### 基準ピッチをA=440Hzから434~446HZの範囲内に変更

国際的に、チューニングピッチのスタンダードはA=440Hzですが、オーケストラなどではA=442Hzや443Hzで演奏することもあり、また「明るめの」サウンドを得るためにピッチを高めにする場合もあります。

1. Gibson G FORCEがオフの状態から**ON**ボタンを3回押します。次に**Enter**ボタンを押します。
2. **LEFT**ボタンを5回押し、**白のe**ストリングLEDが点灯していることを確認して次に**Enter**ボタンを押します。
3. LEDが全て**白**に点滅します。(Gibson G FORCEにオフセットがすでに設定されている場合は、そのオフセット値をLEDが**緑**または**赤**で示します。見方は次の項目で説明します。)
4. **LEFT**ボタンを1回押すごとにピッチが1Hz上がり、LEDの**緑**が1つ点灯します。**RIGHT**ボタンを1回押すごとにピッチが1Hz下がり、LEDの**赤**が1つ点灯します。
5. **Enter**ボタンを押すと、オフセットを一時保存します。

**備考：**オフセットは、Gibson G FORCEで現在選択中のチューニングプリセットのままチューニングする場合に自動的に適用されます。別のチューニングプリセットをロードすると、基準ピッチはA=440Hzにリセットされます。オフセットをキープしたい場合は、**黄色**カテゴリー**B**の**チューニング・オフセットモード（一時設定・完全設定）**（18ページ）をご覧ください。

## リセット機能（赤カテゴリー）

チューニングプリセットバンクを指定して出荷時のデフォルトチューニングへリセットする

1. Gibson G FORCEがオフの状態からONボタンを3回押します。
2. LEFTボタンを5回押し、赤のeストリングLEDが点灯していることを確認します。
3. 次にEnterボタンを押します。LEFT/RIGHTボタンでリセットしたい機能を選択します。各機能は下の色を参考に選んでください。その先の手順は全て共通です。

- E 赤チューニングプリセットバンクをリセット
- A 緑チューニングプリセットバンクをリセット
- D 青チューニングプリセットバンクをリセット
- G 白チューニングプリセットバンクをリセット
- B 黄色チューニングプリセットバンクをリセット
- e マゼンタチューニングプリセットバンクをリセット

4. EnterボタンとUPボタンの間に指をあて、両方のボタンを同時に、長押しします。
5. LEDが選択したバンクと同じ色で順番に点滅し、リセットが完了します。
6. その他のバンクもリセットする場合は、手順3～5を繰り返します。

## マスターシステムリセット（赤カテゴリー）

Gibson G FORCEを工場出荷時の設定に全てリセットする（弦交換時にもリセットすることを強くお勧めします）

**備考：**この操作をすると、全てのカスタムチューニングが消去されます。

1. Gibson G FORCEがオフの状態からONボタンを3回押します。
2. LEFTボタンを5回押し、赤のeストリングLEDが点灯していることを確認します。次にEnterボタンを押します。
3. 次にLEFTボタンを6回押します。E LEDがシアンに点灯します。
4. Enterボタンと上ボタンの間に指をあて、両方のボタンを同時に、長押しします。
5. シアンのLEDが順番に点灯し、リセットが完了します。
6. リセット後、カリブレーションモードを実行しギターを再カリブレーションしてください（次項を参照）。

## ハードウェア拡張機能（シアンカテゴリ）

本項では、カリブレーションを除き、専門的な知識を持ったユーザー向けの内容となっています。ギブソンでは、デフォルトの設定での使用をお奨めしています。

## E カリブレーションモード

**備考：**以下に該当する場合は、再度カリブレーションを実施してください。

- 弦のゲージ、種類、ブランドを変更した
- マスターシステムリセットを実行した
- マシンヘッドの作動に異常が生じた、または弦のチューニングが正しく行われず、など

カリブレーションを実施する前に、ギターを基準ピッチに調節してください（赤チューニングバンクのEプリセット）

1. Gibson G FORCEがオフの状態からONボタンを押します。
2. 開放弦で弦を鳴らします。
3. 全てのLEDが緑になるとチューニング完了です。Gibson G FORCEは自動的にオフになります（緑になっていないLEDがある場合、該当する弦を個別に鳴らしてチューニングを完了してください）。

カリブレーション：

1. ONボタンを3回押します。LEFTボタンを1回押します（シアンAを選択）。
2. Enterボタンを2回押します。ストリングLEDが赤に点滅します。
3. 6弦を一度に鳴らします。全てのストリングLEDが一瞬緑に変わり、消灯します。LEDが赤に点滅したまま変わらない場合は、弦をミュートしてから、もう一度鳴らします。
4. ストリングLEDが緑になって消灯するか、青と赤のコンビネーションに変わったら、弦をミュートします。ストリングLEDが全て赤に点滅します。
5. 上の手順3と4を、LEDが順番に点灯し、最後に1本のストリングLEDが点灯した状態になるまで繰り返します。

## A チューニング精度

チューニングの精度と速度のバランスを取る

1. Gibson G FORCEがオフの状態から**ON**ボタンを3回押します。**LEFT**ボタンを押しシアンAを選択します。次に**Enter**ボタンを押します。
2. もう一度**LEFT**ボタンでシアンAを選択します。次に**Enter**ボタンを押します。
3. **LEFT/RIGHT**ボタンで精度を調節します。点灯するLEDの数が多いほど精度は高くなり、チューニングにかかる時間は長くなります。点灯するLEDの数が少なければ、精度は低くなりますが、チューニングのスピードは上がります。
4. **Enter**ボタンを押してチューニング精度の設定を保存します。

## D マシンヘッドディレイ

機能選択からマシンヘッドがチューニングを開始するまでのディレイ（時間差）を設定

1. Gibson G FORCEがオフの状態から**ON**ボタンを3回押します。**LEFT**ボタンを1回押しシアンAを選択します。次に**Enter**ボタンを押します。
2. **LEFT**ボタンを2回押し、シアンDのストリングLEDが点灯していることを確認し、次に**Enter**ボタンを押します。
3. **LEFT/RIGHT**ボタンでディレイを調節します。消灯するLEDひとつあたり0.5秒のディレイとなります。
4. **Enter**ボタンを押してディレイの設定を保存します。

## G マシンヘッドスピード

ギターのネックのリリーフや安定性がチューニング精度に影響を及ぼしている場合、ヘッドスピードを低減する

1. Gibson G FORCEがオフの状態から**ON**ボタンを3回押します。**LEFT**ボタンを1回押しシアンAを選択します。次に**Enter**ボタンを押します。
2. **LEFT**ボタンを3回押し、シアンGのストリングLEDが点灯していることを確認します。次に**Enter**ボタンを押します。
3. **LEFT/RIGHT**ボタンでスピードを調節します。消灯するLEDの数が多いほどスピードは遅くなります。
4. **Enter**ボタンを押してヘッドスピードの設定を保存します。

## B 干渉フィルター

鳴らした弦以外のマシンヘッドが回転する場合、弦間の干渉を低減する

1. Gibson G FORCEがオフの状態から**ON**ボタンを3回押します。**LEFT**ボタンを1回押し**シアンA**を選択します。次に**Enter**ボタンを押します。
2. **LEFT**ボタンを4回押し、**シアンB**のストリングLEDが点灯していることを確認し、次に**Enter**ボタンを押します。
3. **LEFT/RIGHT**ボタンでフィルター量を調節します。**消灯するLEDが多いほどフィルター量は多くなり、干渉の度合いを下げます。**
4. **Enter**ボタンを押して干渉フィルターの設定を保存します。

**備考：**LEDが全灯の状態では、チューニング機能は高まりますが、e弦とB弦については、G FORCEが正しいチューニングを示しているにもかかわらず、チューニングが正しく行われないことがあります。その場合は、干渉フィルターの設定を点灯LED3～4個に設定してください。

## ソフトウェア拡張機能（黄色カテゴリ）

### E ゲイン

最初に弦を鳴らした時にLEDが黄色に変わらない場合はゲインを増加、周囲のノイズレベルが高い環境ではゲインを減少するデフォルト設定での使用をお奨めします。

1. Gibson G FORCEがオフの状態からONボタンを3回押します。LEFTボタンを2回押し黄色Dを選択します。
2. Enterボタンを2回押します。LEFT/RIGHTボタンでゲインのレベルを調節します。点灯LEDの数が多いほどゲインレベルは高く、システムの反応が良くなります。
3. Enterボタンを押してゲインレベルの設定を保存します。

**備考：**カリブレーション（15ページ）を実施すると、ゲインは最適化されます。ギブソンでは、デフォルトのゲイン設定での使用を強くお奨めします。周囲の騒音が多い環境では、ゲインを一時的に下げ、シングル・ストリングチューニングモードでチューニングを行うことで、パフォーマンスが向上します。

### A ギターのタイプ

エレキギターとアコースティックギターそれぞれに合わせGibson G FORCEを最適化する

1. Gibson G FORCEがオフの状態からONボタンを3回押します。LEFTボタンを2回押し黄色Dを選択します。
2. 次にEnterボタンを押します。次にLEFTボタンを1回押し、黄色A のストリングLEDが点灯していることを確認します。次にEnterボタンを押します。
3. LEFT/RIGHTボタンで楽器を選択します。Eはエレキギター、A Eはアコースティックギター、D A Eはショートスケールギターです。
4. Enterボタンを押してギターのタイプの設定を保存します。

### D ピッチウィンドウ

マルチストリングチューニングで弦の音程が大きく外れている場合、Gibson G FORCEは自動的にシングル・ストリングチューニング

モードに切り替わります。その切替えの基準となるピッチの誤差範囲を設定します。

1. Gibson G FORCEがオフの状態からONボタンを3回押します。LEFTボタンを2回押し黄色Dを選択します。次にEnterボタンを押します。
2. LEFTボタンを2回押し黄色D を選択します。次にEnterボタンを押します。
3. LEFT/RIGHTボタンでピッチウィンドウのレベルを調節します。点灯LED1個=150セント、2個=100セント、3個=75セント、4個=50セント、5個=35セント、6個=25セント
4. Enterボタンを押してピッチウィンドウの設定を保存します。

## G ダウンチューニングやユーザーチューニングプリセット用バンクの追加

チューニングプリセットバンクを3つ追加できます（白、黄色、マゼンタ）

チューニングプリセットバンクをさらに3つ追加できる機能です。デフォルトで、白と黄色バンクは上書き保護のダウンチューニング用となっています（ダウンチューニングには高音e弦は0.013まで、低音E弦は0.056までのなるべく太いゲージの弦が必要です）。マゼンタバンクは、青バンクと同じようにユーザーチューニングプリセットの保存が可能です。

ただし、これらのバンクはいずれもユーザーチューニングプリセット用バンクへの変更が可能です。詳細は、20ページのバンクをカスタムチューニング用にブロック/ブロック解除（青カテゴリー）をご覧ください。

1. Gibson G FORCEがオフの状態からONボタンを3回押します。LEFTボタンを2回押し黄色Dを選択します。
2. 次にEnterボタンを押します。次にLEFTボタンを3回押し、黄色GのストリングLEDが点灯していることを確認します。次にEnterボタンを押します。
3. LEFTボタンを押すと、ダウンチューニングや追加のプリセットバンクが有効になります（緑のe B Gが点滅）。RIGHTボタンを押すと、ダウンチューニングや追加のプリセットバンクを無効にします（赤のD A Eが点滅）。
4. Enterボタンを押してダウンチューニング/追加バンクの設定を保存します。

## B チューニング・オフセットモード（一時設定、確定設定）

グローバルチューニングオフセット（白カテゴリー）では、オフセットの設定は一時的で、別のチューニングプリセットをロードすると解除されるここでは、チューニングプリセットを変更しても解除されないオフセット設定の確定方法を説明します。

1. Gibson G FORCEがオフの状態からONボタンを3回押します。LEFTボタンを2回押し黄色Dを選択します。
2. 次にEnterボタンを押します。LEFTボタンを4回押し、黄色BのストリングLEDが点灯していることを確認します。次にEnterボタンを押します。
3. LEFTボタンを押すと、オフセットがずっと有効になります（緑のe B Gが点滅）。RIGHTボタンを押すと、オフセット設定は一時的有効となります（赤のD A Eが点滅）。
4. Enterボタンを押してオフセットモードの設定を保存します。

## 弦1本ごとのピッチオフセット（マゼンタカテゴリー） 上下12セントまでのオフセットを弦ごと個別に設定する（1セント＝半音の100分の1）

**備考：**ピッチオフセットは、チューニングの最終段階で使う機能です。弦ごとのピッチオフセットは、チューニングする弦を選択、プリセットに合わせてチューニングした後に適用します。ピッチオフセットは、ピッチオフセットの再設定またはバンクのリセット、システムリセットが実施されない限り有効です。

1. Gibson G FORCEがオフの状態から**ON**ボタンを3回押します。**LEFT**ボタンを3回押して**マゼンタG**を選択します。次に**Enter**ボタンを押します。
2. **LEFT/RIGHT**ボタンで、オフセットを設定する弦のLEDを**マゼンタ**に点灯させます。次に**Enter**ボタンを押します。
3. 次に**LEFT/RIGHT**ボタンでピッチオフセットを入力します。
  - 初めてオフセットを設定する場合は、全LEDが**白**に点滅します。**LEFT**ボタンを1回押すごとにLEDが1個**緑**に点灯し、ピッチが1セント上がります（6セントまで）。**LEFT**ボタンを押し続けると、LEDは**黄色**に変わり、**黄色**のLEDが増えるごとに続けて1セントずつピッチを上げていきます（最大12セントまで）。
  - **RIGHT**ボタンを1回押すごとにLEDが1個**赤**に点灯し、ピッチが1セント下がります（6セントまで）。**RIGHT**ボタンを押し続けると、LEDは**マゼンタ**に変わります。**マゼンタ**のLEDが増えるごとに続けて1セントずつピッチを下げっていきます（最大-12セントまで）。
  - 先にオフセットが設定されている場合は、その値が上記の要領で表示されます。**LEFT/RIGHT**ボタンでの調節は、設定されているレベルからとなります。**例：****マゼンタ**のLEDが点灯し-12セントのオフセットの状態からスタートする場合、**LEFT**ボタンを押し続けると**マゼンタ**LEDが順次消灯し、次に**赤**に変わります。さらに押し続けると、**緑**LEDに変わります。
4. 次に**Enter**ボタンを押します。別の弦のオフセットを設定する場合は、手順2～4を繰り返します。オフセット設定が完了したら、**ON**ボタン（**BACK/Off**ボタン）を長押し、Gibson G FORCEをオフにします。

## バンクをカスタムチューニング用にブロック／ブロック解除する（青カテゴリー）

### 任意のチューニングプリセットバンクの上書き保護を設定・解除する

デフォルトでは、カスタムチューニングプリセットを保存できるのは青バンク（ユーザーチューニングプリセット）です。ダウンチューニング用ではマゼンタバンク（ダウンチューニングその他）となっています（18ページ **G** **ダウンチューニング**や**ユーザーチューニングプリセットバンクの追加**を参照）。その他のバンクにはすでにチューニングプリセットが登録され、これらは上書き保護の状態になっています。ただし、このいずれのバンクも上書き保護を解除してカスタムチューニングを保存したり、保存したカスタムチューニングを保護するために、上書き保護を再設定することができます。

1. Gibson G FORCEがオフの状態からONボタンを3回押します。LEFTボタンを4回押して青Bを選択します。
2. 次にEnterボタンを押します。LEFT/RIGHTボタンで上書き設定を変更したいバンクの色を選択します。
3. 次にEnterボタンを押します。LEFTボタンを押すと上書きモードになります（緑のe B Gが点滅）。RIGHTボタンを押すと上書き保護モードになります（赤のD A Eが点滅）。
4. 次にEnterボタンを押します。LEDが緑または赤で順に点灯し、設定が確定されます。
5. 上書きモードにした場合は、これで指定したバンクへのカスタムチューニングの保存が可能になります。

**備考：**カスタムチューニングの保存時にUP/DOWNボタンでバンクを選択する場合、上書き保護されているバンクへはアクセスできません（11ページ参照）。ただし、青バンクについては例外があります。青バンクは、上書きモードの設定に関わらず、カスタムチューニングを保存する時点で保存先として最初に表示されます。これは、全てのバンクがブロックされている場合でもチューニングを失うことなく保存できるようにするためです。青バンクも上書き保護されている場合、いったんUP/DOWNボタンで他の保存先バンクを閲覧すると、青バンクへは戻れなくなります。

## カポモード

カポを装着すると、多くの場合、チューニングのやり直しが必要となります。Gibson G FORCEは、第1フレットから第6フレットの間でカポが装着された場合、そのポジションを検出して適宜チューニングを行うことができます。これは画期的な機能かと思えます。

### カポモードの起動

1. カポモードはデフォルトのチューニングに合わせます。カポモードを起動する前に、希望のチューニングプリセットを選択し、チューニングを実施します。
2. Gibson G FORCEがチューニング完了しオフになった状態で、カポを装着します（第1フレットと第6フレットの間）。
3. **ON**ボタンを2回押します。次に**LEFT**ボタンを長押しします。**緑**のLEDが順に点灯し、カポモードが起動します。
4. **Enter**ボタンを押してから、弦を鳴らしてチューニングを行います。Gibson G FORCEがカポ装着を検出し、一瞬LEDが**黄色**に点灯します。点灯LEDの数はカポのポジションを示しています。**例：黄色LED2個＝カポが第2フレットにあります。**その後、通常のチューニング手順が実施されます。**備考：カポモード起動中は、チューニングの前に必ず黄色LEDが点灯し、カポのポジションを表示します。**
5. チューニングでLEDが**緑**にならない場合は、該当する弦を再度鳴らしてください。チューニングが完了すると、Gibson G FORCEは自動的にオフになります。

### カポモードの解除：下記2通りの方法のいずれかを実施する

- カポを外します。次回チューニングの際、弦を鳴らすとGibson G FORCEはカポが外されたことを検出し、LEDが**赤**で順に点灯します。これでカポモードが解除となります。一瞬全LEDが**青**に変わり、Gibson G FORCEがカポが装着されていないことを確認したことを表します。続けてチューニングを行ってください。
- カポを外した後にチューニングのやり直しを行いたくない場合は、Gibson G FORCEがオフの状態から上記手順3と4を実施します。この際、LEDは**緑**ではなく**赤**で順に点灯し、カポモードは解除されます。**ON**ボタンを長押しし、Gibson G FORCEをオフにします。カポを外します。

## チューニングの合成

選択した弦のチューニングを別のチューニングプリセットに合成する

1. 基本となるチューニングプリセットに合わせてチューニングします。ここに別のチューニングプリセットから特定の弦のチューニングを適用します。
2. **ON**ボタンを2回押してから次のプリセットを選択します：UP/DOWNボタンでプリセットバンクを指定し、LEFT/RIGHTボタンでチューニングプリセットを選択します。
3. この先は、以下の手順を最後まで読んでから実施してください。RIGHTボタンを長押しします。MENUのLEDインジケータが白で素早く点滅します。点滅している間にEnterボタンを押します。Gibson G FORCEがシングル・ストリングチューニングモードに切り替わります。
4. LEFT/RIGHTボタンでインポートしたい弦を選択します。ストリングLEDが赤になるのを待ちます。弦を鳴らします。
5. ストリングLEDが緑になると、上記手順4に戻って別の弦を選択し、チューニング追加を続けます。全ての追加が完了したら、ONボタンを長押ししてシステムをオフにします。
6. 次にシステムをオンにし、現在の状態をカスタムチューニングとして保存します（11ページのA カスタムチューニングおよびA 「ピッチアシスト」モードでのカスタムチューニング参照）。ギブソンでは、合成チューニングをカスタムチューニングとして保存する場合、「ピッチアシスト」モードでの実施をお奨めしています。

## 添付資料1

### String・BAT・MENUのLEDインジケータ色の意味

- String LEDは、チューニング中の弦の状態を色で示します。
- BATインジケータは、バッテリーの残量を3段階で示します。
- MENUインジケータは現在選択中の機能を示します。

チューニング中のString LEDの色 (Eからe)	
●	チューニング完了
●	チューニング未完了 (弦を鳴らしてください)
●	振動周波数が測定範囲外
●	関連付けられたマシンヘッドが回転
●	周波数測定中
○	弦間の干渉を検知
BAT インジケータ	
●	残量十分
●	残量わずか
●	要充電
MENUインジケータ	
●	チューニング実行中
○	チューニング機能カテゴリー
●	[点滅]リセットメニュー
●	ハードウェア拡張機能カテゴリー
●	ソフトウェア拡張機能カテゴリー
●	ストリングピッチオフセットカテゴリー
●	バンクのブロック/ブロック解除カテゴリー
○	[点滅]カポモード

## 添付資料2

# オルタネートチューニングにおける弦ピッチの最小値／最大値

以下は参考です。実際の値は、お使いの弦のゲージにより異なります。

推奨の弦ゲージ最大値は高音e弦で0.013、低音E弦で0.056です。

最低周波数		ダウンチューニングでの最低音階
スタンダード・チューニング	ダウンチューニング	
E 60Hz	47Hz	G1 (49Hz)
A 80Hz	63Hz	C2 (65.41Hz)
D 112Hz	89Hz	F#2 (92.50Hz)
G 150Hz	119 Hz	B2 (123.47Hz)
B 190Hz	150 Hz	Eb3 (155.56Hz)
E 250Hz	198 Hz	Ab3 (207.65Hz)

最大周波数		ダウンチューニングでの最高音階
スタンダード・チューニング		
E 102 Hz		G2 (98Hz)
A 135Hz		C3 (130.81Hz)
D 180Hz		F3 (174.61Hz)
G 240Hz		A#3 (233.08Hz)
B 310Hz		D3 (293.66Hz)
E 400 Hz		G3 (392Hz)

## 添付資料3

### ピッチを下げたカスタムチューニングを手早く行う

スタンダード・チューニングよりピッチを下げたチューニングしたい場合、簡単にカスタムチューニングを作成する方法があります。作成したチューニングは通常のカスタムチューニングとして保存できます。

1. LEDの**赤E**が点灯するまで**ON**ボタンを長押しします。
2. **赤**LED点灯中の弦上で、下げたい音階分と等しい音階分上のフレットを押さえて弦を鳴らします。**例**：低音E弦をDまで下げる（Eから半音2段階下げる）場合、E弦上でF#フレットを押さえる（Eから半音2段階上）。LEDが**緑**に変わったら、次の**赤**LEDが点灯している弦をチューニングします。
3. ピッチを変える必要がなければ、そのまま弦を鳴らします。ピッチを下げる場合は、上記手順2を繰り返します。
4. 1本ずつのチューニングが完了し、全LEDが**緑**になれば、カスタムチューニング完了です。Gibson G FORCEがオフになります。

次に今のチューニングを「ピッチアシスト」を使って保存します。これによりフレットを押さえたことで生じる微細な誤差をG FORCEが自動調整します。

1. **ON**ボタンを3回押しします。次に**Enter**ボタンを押します。
2. **LEFT**ボタンを1回押しして、**白**の**A**ストリングLEDが点灯していることを確認し、**Enter**ボタンを3秒以上長押しすると、ピッチアシスト機能がオンになります。
3. LEDが**赤**に点滅したら、該当する弦を弾きます。全LEDが**緑**になるように作業を繰り返します。完了するとLEDが点滅してから消灯します。（**ヒント**：LEDが**緑**になってから弦をミュートすると、記録操作を素早くすすめられます。）
4. ストリングLEDが**青**に点滅したら、**LEFT**/**RIGHT**ボタンで**青**プリセットのいずれかを選択します。**Enter**ボタンを押して、ピッチ微調整が完了したチューニングを選択中のプリセットバンクに保存します。この方法でチューニングを行う場合、G FORCEは保存済みのピッチ微調整設定を適用します。

## 添付資料4

# ピッチを上げたカスタムチューニングを手早く行う

スタンダード・チューニングよりピッチを上げてチューニングしたい場合、簡単にカスタムチューニングを作成する方法があります。作成したチューニングは通常のカスタムチューニングとして保存できます。

1. Gibson G FORCEがオフの状態の時に**ON**ボタンを3回押します。次に**Enter**ボタンを押します。
2. **LEFT**ボタンを1回押して、**白**の**A**ストリングLEDが点灯していることを確認し、**Enter**ボタンを3秒以上**長押し**すると、ピッチアシスト機能がオンになります。
3. ストリングLEDが**赤**に点滅したら、必要に応じて希望の音階のフレットを押さえ、弦を鳴らします。周波数の測定が完了するとLEDが**緑**に変わります。次のストリングLEDが**赤**に変わったら、再び必要に応じて希望の音階のフレットを押さえて弦を鳴らします。このようにして全ての弦のLEDが**緑**になるまで作業を繰り返します。完了すると、全LEDが点滅してから消灯します。（**ヒント**：LEDが**緑**になってから弦をミュートすると、チューニング操作をスピードアップできます。）
4. ストリングLEDが**青**に点滅したら、**LEFT/RIGHT**ボタンで**青**プリセットのいずれかを選択します。**Enter**ボタンを押して、ピッチ微調整が完了したチューニングを選択中のプリセットバンクに保存します。Gibson G FORCEはオンのまま、このチューニングに合わせたチューニングをG FORCEに記憶させます。
5. **ON**ボタンを2回押してチューニングバンク選択モードに戻します。**UP/DOWN**ボタンで**青**バンクを選択します（すでに選択されている場合は不要）。次に**LEFT/RIGHT**ボタンで、手順4で保存したプリセットを選択します。
6. **Enter**ボタンを**長押し**して、シングル・ストリングチューニングモードに切り替えます。
7. **赤**に点滅しているLEDの弦を鳴らします。LEDが**緑**に変わったら、次のLEDが**赤**に点滅するのをまってその弦を鳴らします。（**ヒント**：LEDが**緑**になってから弦をミュートすると、記録操作を素早くすすめられます。）
8. 全てのLEDが**緑**になるとチューニング完了です。Gibson G FORCEがオフになります。この方法でチューニングを行う場合、G FORCEは保存済みのピッチ微調整設定を適用します。

**備考**：オルタネートチューニングはネック張力に影響を及ぼします。シングル・ストリングチューニングの後、もう一度マルチストリングチューニングを実施することでその影響を押さえられます。

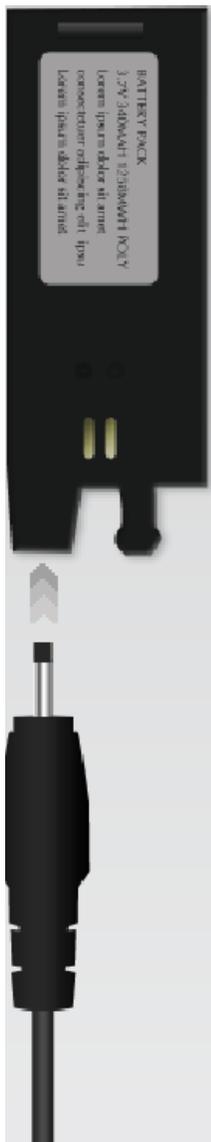
## 添付資料5

# Gibson G FORCE™バッテリーの交換・充電

新品あるいは長時間使用していないバッテリーは、機能が若干落ちていることがあります。機能をフルで発揮させるには充電を数回繰り返す必要があります。バッテリーの残量が減ってくると、Gibson G FORCEコントローラ上のBATインジケータが**赤**に点滅します。

### 注意！

- 不適切な接続はしないでください。
- 火中に投げたり、高温にさらさないでください。
- 露出した接触部分を破砕、穿孔、焼却、ショートさせないでください。
- バッテリーを他の金属に接触させないでください（鍵やコインの入ったポケットに入れるなど）。
- バッテリー装着の際は、スロットに無理やり押し込まないでください。正しく装着されていれば、スムーズに入ります（9ページ参照）。



### 充電

- 充電には付属の充電器以外は使用しないでください。付属品以外を用いると、バッテリー、充電器に故障を来す原因となります。
- 充電中は充電器のLEDが**赤**、充電が完了すると**緑**になります。
- コントローラ上のBATインジケータが**赤**または**黄色**に点灯したら、バッテリーを充電してください。



### バッテリーパック

3.7V 340mAh 1258mWh Li-Polymer

## リチウムポリマー電池充電器

入力 100-240V AC 50/60HZ

出力 4.2V - 300mA

充電器電極：



## 添付資料6

# Gibson G FORCE™取扱規約：安全にお使いいただくために

Gibson G FORCEをご使用になる前に、以下をお読みください。

### 製品の取扱い

- 製品を液体、水分、湿気にさらさないでください。
- 製品を極端に高温または低温の環境にさらさないでください。
- 製品を火のついたろうそく、タバコ、葉巻や炎その他の熱源に近づけないでください。
- 製品を落としたり、投げたり、曲げたりしないでください。故障の原因となります。
  - 製品を解体しないでください。お客様による修繕、部品交換はできません。修理は必ずTronical GmbHまたはギブソンブランドへお申し付けください。
  - 製品をしばらく使用しない場合は、湿気、ほこり、極度な高温・低温を避け、乾燥した場所に保管してください。

### 電機・電子機器の廃棄処分

製品に添付の左のマークは、家庭ゴミとして処分してはならないことを示しています。廃棄の際は、適正に電機・電子機器リサイクルができる定められた回収所に出してください。正しく廃棄処分を行うことで、環境や人体への悪影響を防止することになります。不適切な処分は、これらの潜在的悪影響を実際に引き起こすことになりかねません。また資源のリサイクルは、自然資源の保護にも役立ちます。本製品のリサイクルについての詳細情報は、お住まいの市区町村、家庭ごみ処理サービス、または製品をお求めになった店舗までお問い合わせください。

### 電源の取扱いにおける注意

- AC電源アダプターは、製品に表示されている電源以外には使用しないでください。
- コードの損傷を防ぐため、コードではなくACアダプター本体を持ってコンセントから抜いてください。コードは、踏みつけたり足が引っ掛かる場所を避け、コードにストレスがかかり損傷する事のないよう配慮してください。
- 感電の危険がありますので、ユニットを掃除をする際は、予め電源を抜いてから行ってください。
- AC電源アダプターは、屋外や多湿の環境では使用しないでください。

- 危険 - ACコードやプラグは絶対に改造しないでください。プラグがコンセントと合わない場合は、電気施工資格を有する業者に適正なコンセント取付を依頼してください。不適切なコンセントを使用すると、感電事故の恐れがあります。

### 子どもには触らせない

お子さんがG FORCEを操作しないようご注意ください。小さい部品を使っています。誤って飲み込む危険があります。

### バッテリー情報

- 充電式バッテリーは、正しく取り扱うことにより寿命を長くもたせることができます。新品や長期間使用していないバッテリーは、最初数回の使用に際して電池容量が若干落ちていることがあります。
- バッテリーは極度に高温／低温の場所を避け、55℃（131℉）以上の環境では使用しないでください。
- バッテリー容量を最大限に活用するには、室温での使用が適しています。気温が低いとバッテリー容量も下がります。
- バッテリーの充電は、10℃（50℉）から45℃（113℉）の環境下で行ってください。

### バッテリーの保管

- 一定期間バッテリーを使用しない場合は、電池残量半分程度の状態で保管してください（バッテリーインジケータが黄色の状態）。
- バッテリーの寿命を延ばすには、プラスチック容器に密封の上、冷蔵庫内で保管します（冷凍庫には入れないでください）。冷蔵庫から取り出した際は、バッテリーが室温に戻るまで容器から出さないようにします（空気中の湿気による水滴の付着を防ぎます）。

### バッテリー使用上の注意

- 不適切な接続はしないでください。
- 火中に投げたり、高温にさらさないでください。
- 露出した接触部分を破碎、穿孔、焼却、ショートさせないでください。
- バッテリーを他の金属に接触させないでください（鍵やコインの入ったポケットに入れるなど）。

### バッテリーのリサイクルについて

G FORCEのバッテリーは決して生活ゴミとして廃棄してはいけません。適正な廃棄方法に従ってください。